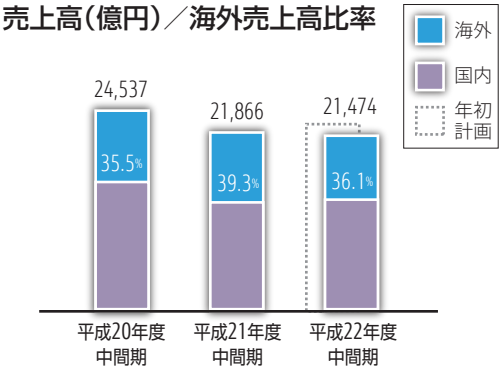
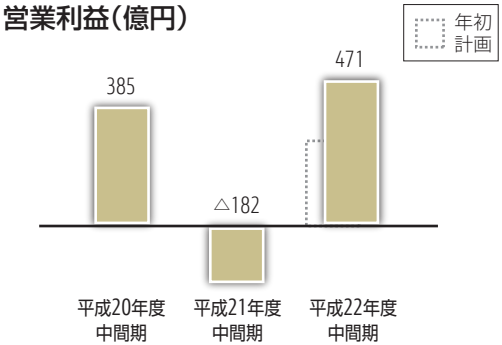
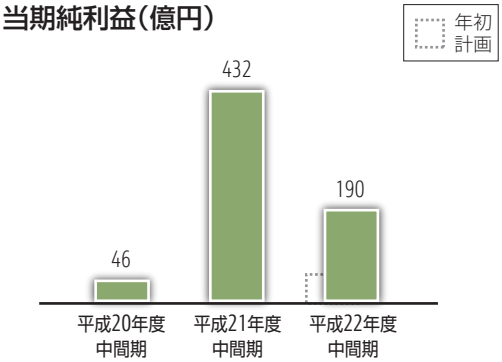
株主のみなさまへ







平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

第 111 期の中間報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

当中間期における当社グループを取り巻く事業環境は、新興国を中心とした需要増加や各国政府の経済対策の効果もあり、回復しつつあるものの、欧州や北米での景気の下振れ懸念や為替レートの変動などにより、回復のペースは緩やかになりつつあります。

このような事業環境のもと、当中間期における当社グループの連結業績は、売上高 2 兆 1,474 億円、営業利益 471 億円、経常利益 314 億円、当期純利益 190 億円となりました。売上高は、円高の影響および欧米を中心とした ICT 投資の削減や延伸影響を受け、年初計画を 525 億円下回りましたが、営業利益は、コストダウンを全社で進めたほか、ネットワークプロダクトやパソコン／携帯電話などが堅調に推移した結果、年初計画を 221 億円上回りました。また、当期純利益は、株式売却益の増加などもあり、年初計画を 140 億円上回りました。

当中間期の配当金につきましては、年初の計画通り、前年同期から 2 円増配して 1 株当たり 5 円とし、支払開始日を 11 月 24 日とさせていただきます。

なお、第 111 期につきましては、今回の中間配当（1 株当たり 5 円）とあわせた年間配当を、1 株当たり 10 円とすることを予定しております。

当社グループでは、過去 10 年にわたり進めてきた構造改革の結果、財務体質が改善しております。今後、「攻め」の経営に取り組んでいくために、本業の収益力の強化を図り、増収・増益基調を確かなものにしてまいります。さらに、成長に向けた 2 つのチャレンジテーマである「新しいサービスビジネスの創造」、「真のグローバル化の加速」に取り組んでまいります。

当社グループは、新たなブランドプロミスとして「shaping tomorrow with you」を策定いたしました。

このブランドプロミスには、「お客様や社会の未来創造に貢献したい想い」と「お客様とともにビジネスを推進していく富士通グループの『お客様起点』の姿勢」が込められています。

世界 17 万人の当社グループ社員一人ひとりがこのブランドプロミスを共有し、常に ICT が生み出す新しい可能性を追求するとともに、新しい価値を創造し続けることで、豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成 22 年 11 月

代表取締役会長　間塚道義

代表取締役社長　山本正已

代表取締役会長
間塚　道義

代表取締役社長
山本　正已